

## 令和6年度の重点課題

〈情意面での課題〉

○運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童の割合について

男子98.67% 女子87.69%

一昨年度と比較すると、男子+7.88%、女子-1.72%となり、女子の肯定的回答が90%を下回っている。

○学校独自の意識調査において、「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識してねばり強く取り組んでいます。」という項目に対する否定的回答が10.94%ある。

〈体力面での課題〉

○男子「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が県平均かつ全国平均値より低い。

○女子「上体起こし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が県平均かつ全国平均値より低い。

上記の課題を受けて具体的に  
取り組んだ事項

【体育の授業で行う取組】

○体育科の準備運動として、**主運動に繋がる運動を意識した運動遊び(AOP)を取り入れる。**

⇒主運動に関連する運動遊びを取り入れることで、主運動に関する動きを意識させるとともに、運動遊びを通して**体を動かすことを楽しむ児童の育成**を目指す。その際、校内研修を行い、全教職員で運動遊びを取り入れる**ねらいや実施方法を共有する時間**を設定する。

○体育主任を中心として、**体育科の授業改善**に取り組む。

⇒児童が**ねらいやめあてを意識して学習に取り組めるよう**、体育科における課題発見解決型学習の在り方について、実技研修や理論研修を行い、授業改善につなげる。

【体育の授業以外で行う取組】

○体育委員会を中心に体力向上イベントを企画・実践することで、**児童の情意面と体力面を育成**する。情意面では「目標に向かって取り組む態度」を育成していく。

⇒1学期 府小っ子ダンス（足が速くなるダンスの講習会）  
2学期 ロングタイム昼休憩（外遊びの奨励）  
3学期 ドッジボールクラスマッチ、持久走大会

## 令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.04	18.53	29.96	41.73	47.48	9.79	148.53	22.47	50.67

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.84	18.07	32.98	40.89	37.98	9.97	136.84	13.76	52.32

県平均値かつ全国平均値未満

## 令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	15.04	18.53	29.96	41.73	47.48	9.79	148.53	22.47	50.67

女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.84	18.07	32.98	40.89	37.98	9.97	136.84	13.76	52.32

県平均値かつ全国平均値未満

## 運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	79.22	16.88	0.00	3.90	第5学年	65.45	23.64	3.64	7.27

## 学校独自の意識調査

学習や学校生活に関するアンケートを各学期行い、その中に運動・体育に関する以下の2項目を入れて意識調査を行っている。  
(1)運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好きです。  
(2)体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識してねばり強く取り組んでいます。  
回答は【よく当てはまる、当てはまる、あまり当てはまらない、当てはまらない】の四段階評価

## 重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

## 体育の授業で行う取組内容

○体育科の準備運動として、**主運動に繋がる運動を意識した運動遊び(AOP)を取り入れる。**

⇒主運動に関連する運動遊びを取り入れることで、主運動に関する動きを意識させるとともに、運動遊びを通して**体を動かすことを楽しむ児童の育成**を目指す。運動の領域ごとに実施内容の例を示した「府小っ子AOPメニュー例」及び、実施方法を具体的に示した「解説版」を各学級・学年に配布する。また、併せて校内研修も行い、全教職員でAOPを取り入れる**ねらいや実施方法を共有する時間**を設定する。

○体育主任を中心として、体育科の授業改善に取り組む。

⇒児童が**ねらいやめあてを意識して**、ねばり強く学習に取り組めるよう、体育科における課題発見解決型学習の在り方について、実技研修や理論研修を行い、授業改善につなげる。

## 体育の授業以外で行う取組内容

○体育委員会を中心に、体力向上イベントを企画、実践することで児童の情意面と体力面を育成する。情意面では、「運動(体を動かす遊びを含む)をすることが好き」「目標に向かってねばり強く取り組む態度」を育成していく。

・1学期・・・府小っ子ダンス（足が早くなるダンスの講習会）、ロングタイム昼休憩（外遊びの奨励）  
・2学期・・・ロングタイム昼休憩（外遊びの奨励）  
・3学期・・・持久走大会、長縄大会、ドッジボールクラスマッチ、ロングタイム昼休憩（外遊びの奨励）

## 重点課題

## 情意面での課題

○運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と回答した児童の割合について

5年生児童の意識調査結果より 男子96.1% 女子89.09%

昨年度と比べると、男子-2.57% 女子+1.4%となった。「嫌い」と回答している児童の割合が 男子+2.67% 女子+4.19% と、男女ともに増加している。

○学校独自の意識調査において、「体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識してねばり強く取り組んでいます」という項目に対する否定的回答が11.5%ある。

## 体力面での課題

【男女共通】

「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「50m走」「立ち幅跳び」が県平均かつ全国平均値より低く、体力合計点も男女ともに下回っている。

令和8年度の  
重点目標値

○「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きです」という質問に対して、肯定的回答を示す児童の割合を90%以上にする。  
○「体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識してねばり強く取り組んでいます」という質問に対して、肯定的回答を示す児童の割合を90%以上にする。